

## ITUAJより

## 編集後記

ブラックホール、それは、近くに来たものすべてがその中へ吸い込まれてしまい、「事象の地平線」と呼ばれる境界を越えてしまったら、光でさえも逃れることはできない。計り知れぬそれに恐れを抱きつつも、人はそれが何なのか知りたい、見たい、という好奇心を抑えられることなく、研究を重ね、想像図を描いてきました。

そして2019年4月10日、ブラックホールの姿が史上初めてとらえられた、とのニュースが飛び交いました。果たして、今回何が分かったのか。何が見えたのか。そもそもブラックホールとは何か。どのように撮影されたのか。今号のスポットライト「ブラックホール「シャドウ」電波撮像を実現したVLBI観測とは」で解説されています。ぜひご精読ください。

## ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら [https://www.ituaj.jp/?page\\_id=793](https://www.ituaj.jp/?page_id=793)

## 編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	白江 久純	総務省 国際戦略局
〃	吉川 滂	総務省 国際戦略局
〃	伊藤 未帆	総務省 国際戦略局
〃	羽多野一磨	総務省 総合通信基盤局
〃	成瀬 由紀	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	岩田 秀行	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
〃	熊丸 和宏	日本放送協会
〃	山口 淳郎	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	側島 啓史	通信電線線材協会
〃	中兼 晴香	パナソニック株式会社
〃	牧野 真也	三菱電機株式会社
〃	東 充宏	富士通株式会社
〃	飯村 優子	ソニー株式会社
〃	江川 尚志	日本電気株式会社
〃	岩崎 哲久	東芝インフラシステムズ株式会社
〃	中平 佳裕	沖電気工業株式会社
〃	三宅 滋	株式会社日立製作所
〃	金子 麻衣	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	杉林 聖	一般社団法人電波産業会
顧問	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

## 編集委員より

## 小売業と時代の変化



パナソニック株式会社

なかがね はるか  
中兼 晴香

消費者として普段よく利用するコンビニやスーパーなどの小売業。ここ最近、著しい変化を感じます。

主には、キャッシュレスの普及と多様化、セルフレジの増加、そしてレジ袋の有料化です。背景としては、少子高齢化による人手不足、デジタル技術革新によるSociety5.0の実現、SDGsの推進、そして日本に関して言えば、間近に迫った2020年オリンピック開催もあると思います。

これに伴う政策の動きも活発になっています。キャッシュレスは、消費税増税後のポイント還元的手段として活用される見通しとなっています。レジ袋有料化については、先日のG20エネルギー・環境関係閣僚会合において経済産業大臣が国としての方針を明らかにしました。

キャッシュレスについては、単に決済手段が増えるという観点だけでは捉えられません。消費者の購入履歴に基づくデータビジネスにまで広がっています。中国では決済データは大きなインフラの一つになっています。セルフレジとキャッシュレスの組合せによって、人件費を削減でき、収益をほかの投資に回すこともできます。レジ袋に関しては、プラスチックの代替品や、自然に分解するプラスチック材料の開発が行われています。また、新たなエコバッグのビジネスが展開されるかもしれません。広い視野で考えることによって、その先のビジネスに大きな可能性を感じます。

消費者の中には、環境が大きく変わることに最初は戸惑う人もいるかと思いますが。特にデジタル機器に不慣れな高齢者など、多くの人が快適に使えるための消費者への対策は必要でしょう。政府にはそのあたりのケアを期待したいです（ただ、キャッシュレスを推進する一方で、新紙幣が発行されるのは少し驚きましたが）。

大きな時代の潮流を感じる小売業、変化をピンチにするかチャンスにするか、これらにかかっているかと思っています。今後の変化を楽しみたいと思います。

## ITUジャーナル

Vol.49 No.8 2019年8月1日発行／毎月1回1日発行

発行人 福岡 徹

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610 (代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイト・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会